

第45回九州高校放送コンテスト熊本県大会実施要項

1 目的

現代に生きる高校生の豊かな人間性の育成と、未来への展望を持つ人間としての成長をめざし、あわせて熊本県内における校内放送活動の健全な育成と放送教育の推進をはかる。

2 ねらい

- (1) 美しく豊かな日本語を大切にできる心情を育て、あわせて、話す力・表現する力を高める。
- (2) 校内マスコミの送り手としての自覚と創造性を育てる。
- (3) 学校生活の中にうるおいをもたらす、心のふれあいの場をつくる。
- (4) 現代社会における人としてのあり方・生き方を学ぶとともに、放送の果たす役割を考える。
- (5) 熊本県内における校内放送活動の向上をはかる場をつくる。

3 主催

九州高等学校文化連盟 熊本県高等学校文化連盟放送専門部

4 参加資格

- (1) 令和5年12月現在、熊本県高等学校文化連盟加盟校に在学する生徒（ただし、高等学校最終学年及びそれに該当する学年を除く）。また、以上の生徒が制作した作品に限る。
- (2) アナウンス・朗読部門への参加は、1名1部門とする。1校からの参加人数の制限はない。
- (3) 他のコンテストに出品した作品は、本大会に参加できない。また、本大会に出品した作品を、他のコンテスト等へ出品することは認めない。

5 参加料 無料

6 日時

令和5年11月5日（日） アナウンス部門・朗読部門、番組部門

※アナウンス部門・朗読部門のデータ審査（非公開）は行わない。

実施方法を変更する場合は熊本県高文連放送専門部ホームページで通知する。

7 会場 熊本市立必由館高等学校 *受付は体育館で行います。

〒860-0863 熊本市中央区坪井4丁目15番1号 （地点：南千反畑）

必由館高校までのアクセス

熊本電鉄バス 系統（C1、C3）「市立必由館高校前」下車 徒歩約5分。

受付場所は体育館です。正門を入れて正面に進んでください。

8 各部門の課題・参加規定

(1) アナウンス部門

- ① 自校のニュースや解説など、高校生活を語る若者の声を内容とし、原稿は自作したものに限る。
- ② エントリー番号・発表者の氏名を含め、1分10秒以上、1分30秒以内でアナウンスする。（予選・決勝いずれの場合も学校名は読まない。）
- ③ 提出原稿は、大分県高文連ホームページの「第7回全九州高等学校総合文化祭大分大会放送部門」のページから原稿用紙をダウンロードして使用する。1ページを表紙として、本文は第2ページ以降に記入する。袋とじ（仕上がりA5判）とし、県大会に提出する原稿は3部（コピー可）とする。（○印の塗りつぶしは不要）
- ④ 各校のエントリー人数には制限を設けない。
- ⑤ 熊本県大会の決勝進出者は30名とする。ただし、予選出場者が60名未満の場合は、出場者の5割を決勝進出者とする。また、九州大会の熊本県代表の推薦数は8名以内とする。

⑥審査基準

(a) 校内放送に使用できる内容であること。

(b) 審査の視点

i. 内容

(ア) 素材の選び方は適当であるか。 (イ) 文章表現は適当であるか。

ii. アナウンスの技術

(ア) 自然な発声で、ニュースが聞き手に伝わるようにアナウンスしているか。

・発声 ・発音 ・マイクの使い方

・歌い上げ・作り声など、不自然なアナウンスは高く評価しない。

(イ) 意味を正しく伝える抑揚表現ができていないか。

・内容把握 ・プロミネンス ・アクセント ・イントネーション

(ウ) 間（ポーズ）は適切か。

・テンポ ・ポーズ

(c) 採点 …… 100点法で総合的に採点する。

(2) 朗読部門

① 次の指定課題4作品から1作品を選び、朗読する。作品の脚色は一切認めない。

作品番号	1	2	3	4
書名	ミゲル・ストリート	廉太郎ノオト	ナミヤ雑貨店の奇蹟	野良猫を尊敬した日
著者名 (訳者名)	V.S.ナイポール (小沢自然・ 小野正嗣)	谷津矢車	東野圭吾	穂村 弘
出版社	岩波文庫	中央公論新社	角川文庫	講談社文庫

② エントリー番号・発表者の氏名・作者名・作品名を含め、1分30秒以上、2分00秒以内で朗読する。（予選・決勝いずれの場合も学校名は読まない。）

* 作品番号1の著者名は、「ナイポール」と読むこと。

* 作品番号4の作品名は、「短編名」ではなく、「書名」をよむこと。

* 抽出は文頭から開始し、文末で終了すること。一文途中での開始や終了は「変更したもの」とみなす。本文中の（ ）内は省略してはいけない。

③～⑤（アナウンス部門の③～⑤に同じ）

⑥審査基準

(a) 審査の視点

i. 内容

(ア) 作品の選定は適当であるか。 (イ) 朗読として適切な部分を抽出しているか。

ii. 朗読の技術

(ア) 自然な発声で、場面や心情が聞き手に伝わるように朗読しているか。

・発声 ・発音 ・マイクの使い方

・演劇調など、過度に演出されているものは高く評価しない。

(イ) 意味を正しく伝える抑揚表現ができていないか。

・内容把握 ・プロミネンス ・アクセント ・イントネーション

(ウ) 間（ポーズ）は適切か。

・テンポ ・ポーズ

(b) 採点 …… 100点法で総合的に採点する。

(3) ラジオ番組部門

① 作品は、6分30秒以上、7分以内とする。

② 作品の最後に「制作は〇〇高校放送部（委員会）でした」とクレジットコールを入れる。

③ クレジットコールには、BGM・SEなど他の音声が重なってはいけない。

- ④計時は、最初の音からクレジットコールの終わりまでとする。
- ⑤作品は、指定された規定（様式4）に「学校名」「作品名」を入れた静止画を貼り付けた動画 mp4 形式とする。ファイル名は「ラジオ（学校名）.mp4」。
- ⑥作品データは以下に示す方法を選び提出する。
- (a) Google Drive を用いて作品データを提出
 - (b) CD-R にデータを保存して郵送または持参
(トラックは1つのみ。クローズ処理（ファイナライズ処理）は行わない。バックアップ用 CD-R 1 枚を別途提出する。)

⑦作品データは返却しない。

(4) テレビ番組部門

- ①作品は、7分30秒以上、8分以内とする。
- ②アスペクト比は、16：9（ワイド）とする。
※再生（審査用ディスプレイ）は、16：9のフル画面のみとする。
- ③テレビ局等の第三者が撮影した素材を主とする作品は、失格とする。
- ④作品の前後5秒間に、規定（様式2）のテストパターンを入れる。
※テストパターンは、大分県高文連ホームページの「第7回全九州高等学校総合文化祭大分大会放送部門」のページからダウンロードして使用する。
- ⑤計時は、テストパターン（カラーバー）を除いた本編部分について行う。
- ⑥作品は、Mpeg-4/H.264 AVC のデータ形式とする。なお、解像度は1080Pまで、作品データの容量は1GB以内とする。
ファイル名は「テレビ（学校名）.mp4」 クローズ処理（ファイナライズ処理）は行わない。
- ⑦作品データは以下に示す方法を選び提出する。
- (a) Google Drive を用いて作品データを提出
 - (b) DVD-R にデータを保存して郵送または持参
(トラックは1つのみ。クローズ処理（ファイナライズ処理）は行わない。バックアップ用 DVD-R 1 枚を別途提出する。)
- ⑧作品データは返却しない。

(5) ラジオ番組部門・テレビ番組部門に共通する事項

- ①高校生活に素材を求めた作品、あるいは高校生活と地域社会とのかかわりを考えた作品で、高校生の視点で描いた独創的な作品であり、それぞれのメディアの特性を生かした作品とする。ドラマ調の場合、出演者は自校生徒、かつ前述の「4 参加資格」の条件をすべて満たす者のみに限る。
- ②審査基準（九州大会要項案より抜粋）
- (a) 校内放送に使用できる内容であること。
 - (b) 審査の視点
 - i. テーマ（伝えたい内容）
高校生ならではの視点で、高校生を取り巻く環境の中からテーマを設定し、それを番組の中で効果的に表現しているか。
 - ii. 制作技術
 - (ア)メディアの選択 (イ)制作方法 (ウ)取材の方法や努力 (エ)企画・構成
 - (オ)演出・編集 (カ)音声や効果音の使い方 (キ)内容伝達力
 - (ク)番組進行表の作成
 - (c)採点 …… 100点法で総合的に採点する。
- ③作品のタイトルは、副題も含めて15文字以内を厳守する。
※作品名が英数字のみの場合は、半角文字で最大30文字（スペース含む）までとする。
- ④提出メディアは、出品作品のみを記録すること。

- ⑤ディスクで提出の場合は、ケースの表に、規定に準じたラベルを貼付する。 ※自作可能
 ※CD-R・DVD-Rの各メディア本体については、シールを貼らずにディスクに直接以下の項目を記載する。(プリンターで直接印字するか、ペンで手書きをする。)
 (ア)部門名 (イ)学校名 (ウ)作品名 (エ)メディアの種類
 ※バックアップには「バックアップ」と明記する。
- ⑥作品の中で用いる音楽・絵画・写真等の著作権を伴う著作物については、著作権、著作隣接権処理を確実に済ませておく。特に音楽は、自作自演もしくは著作権フリーの楽曲を用いることが望ましい。著作権を伴う著作物については、一覧を番組進行表の末尾に添付する。
- ⑦著作権フリーの音源素材等であっても、インターネット上のものを利用することは厳禁とする。なお、著作権フリー素材とインターネット上の素材の使用については、NHK杯番組部門政策関連資料で定めたものと同じとする。
 ※「校内放送研究 No. 188」及び「番組部門制作関連資料」は、下記ホームページからダウンロードすることができます。
https://www.nhk-sc.or.jp/kyoiku/ncon/ncon_h/pdf.html
- ⑧JASRACへの手続きと支払いは各校で行い、関係書類のコピーを番組進行表の末尾に添付する。
- ⑨参加作品の著作権は、制作者(応募した学校)に帰属する。**後日、大会作品集を作成するため、収録の可否をエントリーシートに記入する。収録を承諾した学校に作品集を配付する。**
- ⑩その他の詳細に関しては、NHK杯全国高校放送コンテストの注意事項に準じるものとする。
- ⑪番組進行表等の必要な様式は、大分県高文連ホームページの「第7回全九州高等学校総合文化祭大分大会放送部門」のページからダウンロードして使用すること。番組進行表は、「校内放送研究 No. 188」に準ずる形で作成し、**1部提出**する。
 1頁(様式3-1)… 学校名・作品名・タイム・制作意図(200字程度)
 スタッフ/キャスト(学年)
 2頁(様式3-2)… 必要枚数を綴じ合わせたCUEシート
 3頁(様式3-3)… 使用著作物一覧
 ※必要に応じて、音源使用許諾(様式3-4)・取材・著作物提供許諾(様式3-5)を添付する。
- ⑫番組進行表は大会終了後に返却する。
- ⑬九州大会の熊本県代表の推薦数は、ラジオ番組部門・テレビ番組部門各5作品以内とする。(ただし、新型コロナウイルス感染症感染拡大の状況を踏まえ、変更の可能性はある)

9 その他の注意事項

- (1)九州大会の様式規定に関わらず、県大会では審査の都合上、指定された部数を提出する。
- (2)各規定や注意に反したもの、および時間の過不足は失格とし、審査の対象から外す。
- (3)番組各部門の制作にあたっては必要に応じて著作権処理を行い、番組進行表末尾に許諾書・明細書のコピーを貼付した上で作品を提出すること。(提出時までには著作権処理を完了していない作品は失格とする。)著作権関係の用紙は、日本音楽著作権協会のホームページからダウンロードしたものを使用すること。(「校内放送研究 No. 188」p17とNHK杯番組部門制作関連資料の注意事項に準じる)
- (4)レコード会社によっては許諾に関する事務処理が遅いこともあるが、そのことを理由に作品の提出及び著作権手続きの期限を遅らせることは認めない。

10 参加申し込みについて

- (1)アナウンス部門・朗読部門の原稿、ラジオ番組部門・テレビ番組部門の番組進行表・作品の一切について、参加規定・参加様式を厳守すること。
- (2)提出物および提出期限
 ※入力フォームは、本要項とともに各学校に送付する。

※送信先のメールアドレス：tt01-kbc@g.bears.ed.jp

■ 10月18日（水）までに

参加各校は、エントリーシートを熊本県高文連放送専門部事務局（以下、事務局）へ提出（電子メール）する。ただし、番組部門については代表生徒名のみ記載する。（変更可、タイトルとタイムは空欄）

※ファイル名：「【〇〇高校】エントリー_45_九コン県大会」

■ 11月1日（水）までに

参加各校は全部門作品提出シート（プリントアウトしたもの各校1枚及び電子メール）を提出する。

※エントリーする全部門（番組とアナ朗）について入力する。（タイトル・タイム）

※ファイル名：「【〇〇高校】全部門_45_九コン県大会」

アナウンス部門・朗読部門の参加校は、以下のものを取りまとめて事務局へ提出する。

○原稿（1人3部：コピー可）（郵送または持参）

※アナウンス部門・朗読部門にエントリーする者は全員提出する。

①形式：原稿データはA4サイズ

番組部門の参加校は、以下のものを取りまとめて事務局へ提出（郵送または持参）する。

○ラジオ番組部門・テレビ番組部門の番組進行表

○番組進行表データ（A4サイズPDF形式）、作品データ

※ディスクで提出する場合は、作品（CD-RまたはDVD-R）とバックアップ

※各データは1作品につき1ファイル作成

※ファイル名と形式は8（3）⑤および（4）⑦を参照

※参加規定及び著作権の処理を十分確認すること。

提出先	〒860-0863 熊本市中央区坪井4丁目15番1号 熊本市立必由館高等学校 熊本県高文連放送専門部事務局 松本 芳盛 宛て TEL 096-343-0236 E-mail： tt01-kbc@g.bears.ed.jp
提出期限	■令和5年 <u>10月18日（水）</u> 午後5時必着（電子メール） ○エントリーシート ■令和5年11月1日（水）午後6時必着 ○ <u>全部門作品提出シート（各校1枚）</u> ○アナウンス部門・朗読部門 <u>原稿</u> （1人3部コピー可） ○ラジオ番組部門・テレビ番組部門 <u>番組進行表</u> 、作品データ（CD-R、DVD-Rの場合は持参） （※締切日の午後6時頃に事務局担当者が必由館高校の正面玄関に待機しています。刻限を過ぎた場合は受け付けません。直接持参される場合は交通安全に配慮し十分に時間に余裕を持ってお越しください。）

11 顧問の先生方へ

- (1) 今後の大会・校内放送合同講習会などに関する連絡等は、下記のホームページに掲載します。
- (2) 12月8日（金）～10日（日）の3日間、「別府国際コンベンションセンターB-CONPLAZA」

(大分県別府市)を会場に、「第7回全九州高等学校総合文化祭大分大会放送部門 第45回九州高校放送コンテストならびに校内放送活動集会大分大会(以下、九州大会)」が開催されます。詳細については、後日改めて連絡します。

- (3) 本大会への参加は1、2年生のみです。熊本県大会のアナウンス部門・朗読部門上位各8名、ラジオ番組部門・テレビ番組部門各5校が九州大会に出場することができます。**(エントリー数については、新型コロナウイルス感染症感染拡大の状況を踏まえ、今後変更の可能性があります)** また、九州大会で好成績を収めた生徒は、来年度の全国高等学校総合文化祭岐阜大会の代表に選出されます。(各校1人または1作品のみの出場) また、アナウンス部門・朗読部門上位入賞者の中から数名、令和6年度熊本県高等学校総合文化祭の総合司会に推薦されます。

熊本県高文連放送専門部HP <https://ws.higo.ed.jp/hshouso/>

1.2 新型コロナウイルス感染防止対策について

※感染状況によっては、実施方法を変更する場合があります。

(1) 会場内への入場制限

以下の者のみ大会会場内への入場を認める。

○アナウンス部門・朗読部門決勝審査及び番組部門審査当日 [11月5日(日)]

- ・大会関係者(審査員、大会運営職員)
- ・**出場校放送部生徒および引率職員のみ入場可**

(2) 開催時の留意事項

- 常時出入口のドアや窓を開け、換気を行う。
- こまめな手洗いと手指消毒を徹底する。
- 人と人との間隔を十分に確保する。(受付時、入退場時、待機場所、発声練習時等)
- 出場受付は各校の引率顧問が行う。
- 学校ごとに待機場所を指定する。
- 会場での飲食は禁止とする。ただし、水分補給は各自必要に応じて行う。

(3) 大会参加者および大会関係者に対する注意事項

- 引率顧問は、大会参加者および大会関係者の体調(発熱や風邪、味覚障害等の症状の有無)を確認し、体調不良者の参加を認めない。
- マスクの着用、こまめな手洗い、咳エチケットなどの感染防止対策を徹底する。
- ゴミはすべて持ち帰る。

再確認！

- Q.1：提出期限が18時までですが、少し遅れてもいいですか？
Q.2：レコード会社がいつまでも曲の使用を許諾してくれないのですが、あとからでもいいですか？
Q.3：提出した原稿や番組進行表に間違いがありました。提出期限後に差し替えることができますか？



すべて「NO」とします。

- A.1：提出期限に間に合わないものはすべて失格です。
A.2：許諾が得られた曲、あるいは著作権フリーの曲を使用して期限までに提出しなければ失格です。
A.3：差し替えることはできません。原稿等の誤記、誤読（アナ朗）は審査の重要ポイントの1つです。原稿等を提出するときからコンテストは始まっています。事前に十分確認してから提出してください。

- 遅延・内容等の誤り・著作権侵害は許されません。
- ルールを厳守しなければ、公平・公正な審査はできません。
- ルールを守らないことにより、エントリー作業に支障が生じ、ひいては他の参加者の迷惑になります。

放送人としての十分な自覚を！

九州高校放送コンテスト熊本県大会用 参加ラベル

※作品をディスクで提出する場合のみ使用してください。

- 1 適切な大きさにコピーして、外枠に沿って切り取ってください。
- 2 CD-RやDVD-Rのケースに貼付してください。

ラジオ番組部門・テレビ番組部門CD-R・DVD-Rのケース用

テレビ番組 部門	
立	高校
作品名	

ラジオ番組 部門	
立	高校
作品名	

テレビ番組 部門	
立	高校
作品名	

ラジオ番組 部門	
立	高校
作品名	